



JC-HITS

PRESS RELEASE

平成 19 年 5 月 14 日

ジャパン ケーブルキャスト株式会社

CATV 地デジ自主放送用データ放送アプリケーションサービスのトライアルを開始!

～CATV デジタルコミュニティチャンネルの高付加価値化サポートに向け、新サービスを開始します。～

ジャパンケーブルキャスト株式会社(以下、ケーブルキャスト、本社:東京都中央区、代表取締役社長:相坂吉郎)は、地上デジタル放送ネットワークでのケーブルテレビ自主放送向けデータ放送アプリケーションサービスのトライアルを開始いたします。本トライアルは、岡山ネットワーク株式会社(以下、oniビジョン、本社:岡山県岡山市、代表取締役社長:高野葵 氏)が運用する地デジコミュニティチャンネルにて、平成 19 年 5 月 11 日より開始しました。

ケーブルテレビ業界では、地上デジタル放送ネットワークでのケーブルテレビ自主放送の運用仕様が策定されたことを受け、デジタルコミュニティチャンネルが相次いで開始されています。また同時にデジタル放送の特徴であるデータ放送をデジタルコミュニティチャンネルに活用した、きめ細かでタイムリーな地域情報の配信サービスや、新たな付加価値サービスの導入が期待されています。

この動向を受け、ケーブルキャストでは、ケーブルテレビ局のデジタルコミュニティチャンネルの高付加価値化をサポートするため、この度データ放送アプリケーションサービスのシステム(添付資料参照)を構築しました。本システムはケーブルテレビ局とケーブルキャストのセンターシステムとを専用回線で接続します。ケーブルテレビ局側からはコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)を利用することで、コンテンツ素材の更新が可能です。本アプリケーション導入により、ケーブルテレビ局は、よりきめ細かな地域・行政情報の効率的配信はもとより、地デジコミュニティチャンネルを地域ポータルとした様々な生活関連情報や消費情報の提供が、独自のシステム導入に比べ、安価な投資・運用負担にて可能となります。

oni ビジョンでは、今回のトライアルサービスを利用し、町内会の回覧板、行政からのお知らせ、緊急情報、防犯情報、児童見守り情報等のコンテンツを、データ放送で視聴者に向けて発信します。ケーブルキャストは、半年間程度のトライアルサービスを実施し、本格サービス開始に向け、地域・行政情報のみならず、各ケーブル局でチョイス可能な、全国向けのエンターテインメントコンテンツや、ケーブルテレビ局の新しい収益モデルになるコンテンツ・アプリケーションを充実させるとともに、サービス品質の向上を図ってまいります。

なお、ケーブルキャストは、本年 6 月 14 日～16 日に開催されるケーブルテレビショー2007 において、本データ放送アプリケーションサービスのデモンストレーションを実施し、具体的なデータ放送の内容を紹介するとともに、本サービスを活用したケーブルテレビ局の新たなビジネスモデルの提案等を行いますので是非ご来場ください。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)
ジャパン ケーブルキャスト(株) 経営企画部 中川英樹
電話 03-5299-2502
URL: <http://www.cablecast.co.jp>

添付資料: データ放送アプリケーションサービス システム図

